

生きがい八王子

第122号 2025年 夏号



編集・発行

公益社団法人

八王子市シルバー人材センター

〒193-0831 八王子市並木町15-15

TEL 042-673-6753 FAX 042-673-7851

メール hachioji-sc@sjc.ne.jp

HP <https://hachioji-sjc.org>

第15回定時社員総会



八王子市長

八王子市

シルバー人材センター

名誉会長

初宿 和夫

しやけ かずお

日ごろより、「広報はちおうじ」の各戸配布や放課後子ども教室での安全管理業務など、八王子市が実施する多岐に亘る事業に対する会員の皆様の御協力に感謝申し上げます。

その中でも会員の皆様が日々の業務のなかで高齢者等の異変に気付いた場合に市へ連絡していただく見守り協定事業は、高齢者等の地域社会からの孤立を防止し、安心して生活できる地域づくりに重要と考えており、その御尽力に厚く御礼申し上げます。

シルバー人材センターの皆様には事務所を大横保健福祉センターから旧横山事務所へ移転し、八王子市の子育て世代への支援強化の取組として、母子保健と児童福祉の一体的実施に御協力いただきました。令和7年(2025年)4月5日のオープニングイベントにも参加いたしました。改めて移転への御協力に感謝申し上げます。また、7月には新たな運営拠点としてJR八王子駅北口近く

のクリエイティブホールに「えきまえサポートセンター」を開設しました。シルバー人材センターの活動の場が更に広がることを期待しています。

八王子市では、高齢者の介護予防や健康長寿に重要といわれている社会参加を促進するため、多くの高齢者が対象となる八王子てくてくポイント、通称「てくてく」とオンラインで可能な運動プログラム「SOFIT(ソフト)」の活用を推進しています。シルバー人材センターの活動とあわせて会員の皆様にも取り組んでいただき、いつまでも健やかに八王子市政をお支えいただければ幸いです。

今年、2025年(昭和100年)は、全ての団塊の世代の皆様が75歳以上の後期高齢期に入りました。福祉、介護、医療に関わる人材不足も深刻であり、本市では15年後の令和22年(2040年)までに介護人材が約2000人不足すると試算しています。このような状況では、高齢者の就労機会の提供を通じて社会参加に取り組んでいただいているシルバー人材センターの存在はますます重要になると考えております。

時節柄、熱中症にはくれぐれも御留意いただき、どうぞ御自愛ください。皆様が無事、元氣いきいきと御活躍されますことを、心より願っております。

新役員あいさつ



八王子市
シルバー人材センター
会長 杉浦 茂樹

第15回定時社員総会で理事就任の承認を頂き、直後の臨時理事会で推薦を受け、会長に就任しました杉浦です。

2600名を超える会員の皆さんが、安全に安心して就業およびセンター活動に取組んでいただけますよう理事の皆さんと共に任期の2年を全力で職務に取組んでいく所存であります。

その取組のいくつかをご紹介します。一つ目として、会員の皆さんもご承知のとおり、当八王子市シルバー人材センターは、来年度50周年を迎えます。園部前会長の思いを引き継ぎ、50周年記念事業を進め、会員の皆さんとお祝いをできる事を期待しております。

二つ目として、情報の共有およびセキュリティの強化に取組んでまいります。7月に個人情報取扱っている役職員および地域連絡員の皆さんを対象に、情報セキュリティの研修会を開

催した事もその一環です。

取組の最後の紹介となりますが、地域委員会を通じて地域班活動の強化に取組みます。特にボランティア活動は会員同志の連帯感の醸成のみにとどまらず地域に貢献できるような活動です。で積極的にやっていきたいと考えております。

これらの取組は、会員の皆さん一人一人のご協力があつてこそ達成できるものであり、そのためには、なんと言つても、健康でなければならぬと思います。安全就業、健康維持への取組・環境づくりに各常任委員会に旗を振って頂き、取組んでいきたいと思つております。

会員の皆さんのご協力とご支援をいただきこの重責を務めあげたいと思つております。



八王子市
シルバー人材センター
副会長 浅原 ユリ子

6月の総会後、新体制でスタートになりました。今まで八王子市シルバー人材センターは、シルバーの王道をしつかり歩んで来ます。時代の変化もあるなか、他のシルバー人材センターの動向を

確認してから失敗することがないよう確実な歩み方だと思つています。

しかしながら古い価値観や慣習にとらわれ旧態依然の体制のままのこともあります。今期のメンバーで協力しながら、新時代への的確な対応に踏み出し、より会員の利便性向上に進めて行きたいと思つています。

新会長のもと調和を取るのが副会長の役目として、主に以下の①～⑦に取り組み、会員の皆様の生の声を活かして行く所存です。シルバー人材センターの会員で良かったと思えるシルバーを皆で目指して行きましょう。

- ① デジタル環境整備への取組み
- ② 就業拡大と業務の効率化
- ③ 会員の接遇等サービス向上に向けた各種研修会(1年目・3年目研修・職種班研修)
- ④ 重要な情報手段【おおるり】の全会員周知と「スマスマ」登録
- ⑤ 個人情報管理の適切な徹底
- ⑥ 適正な役員報酬制の導入
- ⑦ 50周年記念事業の実現



八王子市
シルバー人材センター
常務理事 小俣 勇人

このたび、公益社団法人八王子市シルバー人材センターの常務理事を拝命いたしました小俣と申します。これまで事務局長としてセンター運営に携わり、会員の皆さまとともに課題解決に努めてまいりましたが、今後は常務理事として、より広い視点からセンターの発展に尽力してまいります。

現在、シルバー人材センターは高齢者の社会参加を促進する重要な役割を担っております。しかし、会員の高齢化や就業機会の多様化への対応といった課題に直面しています。これらの課題を克服し、より持続可能なセンター運営を実現するために、会員の皆さまと力をあわせて新たな取組を進めていく所存です。

また、地域社会との結びつきを深め、シルバー世代の経験と知識を最大限に生かせる環境づくりにも注力してまいります。これからも皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



左上から白鳥理事、大池理事、水口理事、野間理事、山本理事、井田理事、力石理事、金原理事、宮崎理事、小笠原理事
左下から菅野理事、荒木監事、浅原副会長、杉浦会長、小侯常務理事、金丸理事、木村理事

令和7年6月20日に開催された第15回定時社員総会で任期満了により8名の理事と1名の監事が退任されました。



退任された理事・監事の
皆様お疲れ様でした！

新理事あいさつ



中部地区 理事
大池 克幸

私がシルバー人材センター（SC）を知ったのは10年程前に植木の剪定をお願いした時でした。安価で丁寧な仕上げ、そして八王子市にお願ひした安心感が

当時の印象です。

定年退職後、母校の同窓会の仕事を通し、現役時代は技術職でしたが、イベント企画やサークル活動、編集業務など新たな取り組みが新鮮でした。一区切りし、次に選んだのがSCでした。

地元での仕事探しと違ってノックしましたが、思いがけず総務委員のお声がけを頂き、経験が生かせるのではとお受けし2年間携わり今に至っています。

SCに多くの課題がある現状を知り委員長や関係者、事務局の方々との協議を通じた提案を委員会に諮ってきました。

SCは多方面で経験された方々の集合体です。課題を共有し共に考え、行動することが解決への糸口となります。（現在の一番の課題は多くの会員に就業の機会をご提供することです。）プロジェクトを組んで就業拡大に真剣に取り組んでいます。

SCは約2600人の会員と事務局職員で構成された公益法人組織です。就業を通して人生の楽しさと新たな発見を見つけていただきたいと共に、組織力を生かし益々の発展を目指し微力ながら努力してまいります。

様々なプロジェクトに取り組んでいます！



中部地区 理事
水口 良治

2019年10月、退職後の小遣い稼ぎにシルバー入会しました。見た目偉そうなジジイですが、話してみるとそうでもない、ジジイです。今は広報配布して6年が過ぎました。

鮎解禁を待つて、岐阜の東白川、富山の神通川へ車で遠征。車中泊で3泊4日くらい頑張っています。釣れても釣れなくても一つのこと

に没頭できることが楽しいです。もう一つの楽しみは、54歳から始めたハーレーダビットソンの仲間と走ることです。あと何年走れるのか？

自問自答してシルバーの車事故が多いので、ハーレーは70歳で卒業し、楽しみが一つ消えました。新しい楽しみは、孫の顔を見る

ことです。見ているだけで可愛いので時間を忘れるくらいです。今回シルバーの理事を引き受けたのは、広報を配布して感じたことを活動に生かしたいと考え、少しでもシルバーの活動がよくなるように努めたいです。

楽しみも大事！



北部地区 理事
木村 泰臣

シルバー人材センターは、公益法人として地域に貢献するために様々な活動を展開するのが主旨ですが、同時に平均寿命の延伸にともない、生きがいのためだけの就労でなく、ある程度継続した就業期間と収入見込みが計算できる仕事を選択重視する会員が拡大しているのも事実です。

特にホワイトカラー退職層を中心とした事務系業務者からの要請には高いものがあり、人手不足に悩む企業のニーズにも応えるべく就業先の確保・開拓が重要な課

題となつているものと思っておりますので、この方面に微力ながら努力したいと思っております。

また、シルバー人材センターの活動実績をできるだけ多くの高齢者に様々な方法で周知することによって賛同、参加者の輪を広げていくように、力になりたいと思っております。



西部地区 理事
白鳥 信行

このたびは八王子市シルバー人材センターの会員と致しまして、理事という大役を指名いただきました。理事という大役を指名いただいた限りは一生懸命にお役目を果たしたいと思えます。

実は「理事になってー」と先輩の方にお誘いいただいた時にはお引き受けしたほうが良いのかお断りしたほうが良いのか私自身大変困惑いたしました。結果としてお受けすることに至りました。理事をお受けした限りは一生懸命にお役目を果たし頑張りたいと思います。今後も各先輩方々のあたたかいご指導ご支援をお願い申し上げます。

私がシルバーに会員として入

会したのは今から17年前の頃と思います。当時入会した理由は川口町内の広報を担当していた先輩のお声があったことだと思えます。私は当時八王子市シルバー人材センターの広報配布について何も理解していませんでしたが、先輩の説明を受け、また先輩の熱意ある説得を受け、入会いたしました。

これから先も皆様方と仲良くして広報の配布を楽しむ様に心がけたいと思います。そのためにはまずは健康を第一に就業に励みたいと思います。

以上簡単な理事就任のご挨拶ですがよろしく申し上げます。

配布の仕事も楽しんで！



西南部地区 理事
金原 伸一

この度、八王子市シルバー人材センターの理事に就任することになりました「金原(きんぱら)伸一」

と申します。

地域社会の活性化に尽力され、50周年を迎える八王子市シルバー人材センターの理事として一員に加われることは、大変光栄に存じます。

超高齢化社会を迎える現代において高齢者が培ってこられた知識や経験は、社会にとつてかけがえのない財産です。また、働く意欲のある高齢者が「希望と活力」を生み出す地域社会の拠点であると考えられる八王子市シルバー人材センターで生き生きと活躍できるように、環境づくりに尽力してまいります。

未熟な点も多いかと思いますが、支えてくれる皆様のお力添えに感謝しながら、一歩ずつ前進してまいります。

どうぞ、よろしく願いたします。



生き生きと活躍できる
環境づくりを目指します！



西南部地区 理事
力石 光廣

この度の定時社員総会に於きまして理事として選任されました力石と申します。

シルバー人材センターに入会して7年になります。今まで市の事務所管理員、広報配布、地域連絡員を経験してきました。

今回の理事という仕事、職務は、今までやってきたことは内容的にかなり違うのでとまどっております。ただし、どの職場職務においても人とかかわりが一番大切であり、人との和が生きがいにつながっていると思います。

今回の理事のお話をいただいた時は、人は「求められているうちが花」と言われます。まだ少しでも自分を求めてくれる人がいるのかと思うと勇気が湧いてきました。

シルバー人材センターの理念である「自主・自立、共働・共助」も人それぞれが良い型で関わっていくことで達成されることだと思います。

初めてのことはばかりですが、関係する皆様のお力をお借りして微力ながらお役に立ちたいと思いますので御指導よろしくお願い致します。



東南部地区 理事
小笠原 昭

2018年に、会社を辞めると同時にシルバー人材センターに入会し、直ぐに広報配布と清掃の仕事を始め、今も変わらず就業しております。

地域のお役に立てればと思い、地域の委員を経験させて頂き、又ボランティア活動にも参加させて頂き、会員の皆様との交流を深めて参りました。

この度、東南部地区から理事を務めさせて頂く事になりました。

理事という大役をお受けする事に戸惑いや不安を感じておりますが、皆様と一緒に、心身共に健康で働けるシルバー人材センターの発展の為、微力ではありますが努めて参りたいと思っております。

ご指導、ご協力のほど宜しくお願い致します。



東南部地区 理事
宮崎 周一

私は入会以来、約15年にわたりパソコン班の一員として、会員の皆様や地域の方々にスマートフ

オンやパソコンの操作を支援してまいりました。

活動を通じて、ICT(情報通信技術)の利活用が高齢者の社会参加や安心な暮らしの一助となることを実感しております。また、業務安全委員会の活動に参加する中で、各職種班の取り組みに触れ、センター全体の幅広い活動内容とその意義を理解する貴重な機会を得ることができました。

ICTの重要性がますます高まる中、理事としては、総務委員会および広報委員会に参画し、情報の円滑な伝達と的確な共有を通じて、より効果的なセンター運営に寄与したいと考えております。

そしてこれまでの経験を活かしセンターのさらなる発展に微力ながら尽力する所存です。

シルバー人材センターにも IT技術の利活用を!!



東部地区 理事
山本 敦三

今年度の定時総会において、理事に選任していただきました。会員の皆様ありがとうございました。

私は、令和元年に入会し、これまで広報配布、地域連絡員、総務委員、南大沢駅前トイレの清掃などを経験してまいりました。

その中でも特に印象に残っているのは、地域連絡員としての活動です。会員一人一人とコンタクトをとり、そのやりとりからシルバ―の活動全体を考える、それが私のシルバーにおける活動基準のようなものになっています。

しかし、理事の立場になりますと会員と直接触れ合う機会が減り、何か行動する際「シルバーの会員全員」といった抽象的なことは考えても、会員の皆さま一人一人の顔が見えなくなるのではないかと懸念しております。

そのような折には「もつと自分たちのことを考えてください」「会員の声をちゃんと聞いていますか?」「等のお叱りの言葉をかけてくださると幸いです。

よろしくお願い申し上げます。



監事
荒木 紀行

先の総会においてご信任いただき、八王子市シルバー人材センターの監事に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、これからの社会において八王子市シルバー人材センターの役割は益々重要な位置を占めていくものと考えています。

私ども高齢者にとつて大事なことは、「キョウイクとキョウヨウ」が必要であると言われています。すなわち「今日行くところがあること」と、「今日用事があること」であり、まさしくその機会を与えてくれているのがシルバー人材センターではないかと思えます。そのような役割を持つシルバー人材センターの監事として

- ① 独立した機関であることを自覚し、常に公正不偏の態度を保持すること
- ② 理事、職員等との意思疎通を図り情報の収集や監査の環境の整備に努めていくこと

の考えに基づき監事の職責を全うしていきたいと考えています。そ

して微力ながら、市民に信頼される八王子市シルバー人材センターに寄与していきたいと思えます。

常任委員会の紹介

八王子市シルバー人材センターには会員で組織する常任委員会が合計で4つあり、センターの適切な運営のために、それぞれが目的を持って活動しています。理事の改選にともない各常任委員長が交代しましたので、新委員長より活動内容の紹介をいたします。

総務委員会

委員長 大池 克幸

総務委員会は当センターの運営、管理、連絡調整などの基盤を支える業務を担い、諸課題への取組みを通して円滑なセンター活動を支えるべく活動しています。構成は委員長、副委員長、各地区代表の理事・委員、そして事務局の総勢14名です。月1回の委員会の他に9つの個別課題の検討ワーキングがそれぞれの課

題解決に向けて鋭意活動しています。

更に、理事会直下に位置する、50周年記念プロジェクト、就業開拓拡充プロジェクト、シルバーフェア2025実行委員会、役員報酬制導入検討プロジェクトにも大きく関わりを持っています。以上より本委員会が多岐にわたリセンターの要となっていることをご理解いただけるかと思えます。

当センターは来年設立50周年の節目の年を迎えます。従前からの運用、仕組みを再確認し、シルバーの「自主・自立、共働・共助」の理念に照らしつつ、会員の皆様が今求めていることに焦点を当て、改めるところは大胆に、また良いところはよりきめ細かくお応えできるようにする契機之年ともいえます。その実現には会員の皆様方からの忌憚なきご意見とご協力が必要となります。総務委員会として受止め、他の常任委員会との連携の下で実現に努めます。どうぞよろしく願いいたします。



業務安全委員会 委員長 野間 直紀



業務安全委員会のご紹介をしたいと思います。

皆さんもご承知のとおり6月の定時社員総会で会長はじめ多くの理事さんが新任され、当委員会のメンバーも委員長の私も含め一新されている船出となっております。7月の新体制での委員会にて活動計画について協議し、4月からスタートしている今年度の活動計画をそのまま継続していくことを決定したところです。

安全に関しては、おおるり5月号でも紹介しておりますとおり前年度の傷害・賠償事故件数20%減を目標に掲げ、転倒防止のための体力づくりの推奨、熱中症の予防など、あの手この手で皆さんにも情報を提供していきたいと考えております。

とはいうものの、この目標を達成するにあたって、会員皆様ご自身の意識、努力によるところかと思っております。

事故を望む方はおられるはずもありませんが、いざ事故が起きるとご本人ばかりでなく、他の仲間、お客様にも迷惑がかかることになることもお忘れなく。

最後になりますが会員の皆さん、事務局の皆さんのご協力、ご

支援を仰ぎながら皆さんのご期待に応えられるような活動を進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願い致します。

広報委員会
委員長 山本 敦三



黒田前委員長の後を引き継ぎ、新しく広報委員長に就任しました山本敦三と申します。

よろしくお願いいたします。

- 「おおるり」、「生きがい八王子」の作成、発行
- ホームページの更新
- 各種イベントへの参加
- センター広報の計画と実施

などがあり、これらを通して皆さんに知っておいていただきたい情報、みなさんが知りたい情報を発信していくのが役割となります。

対外的な情報発信は当然ながら、これからはシルバー内の広報活動にも力を入れたいと考えています。

例えば、ホームページ等を利用して、職種班の紹介、地域班の紹介、会員の紹介などです。

また来年はシルバー設立50周

年の節目の年です。それに向けての活動も「50周年事業プロジェクトチーム」と連携して進めてまいります。

広報活動とは、情報のやり取りを通じて、「信頼」「共感」を得ることにあると考えております。

会員のみなさまの、ご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

地域委員会
委員長 水口 良治



地域委員会は会員の皆様と連絡を取れるように6地区に分け、各地区に理事を置き、又地域連絡員を募り、会員や地区の活性化、地域との連携の強化に向けて諸活動を進めています。

地区の活性化活動としては、地域連絡員による地区会議、会員による地区懇談会や会員研修会を開催して、地域連絡員の連携強化、会員の交流、情報の共有化などをはかっています。

昨年5年振りに復活した地域連絡員研修会を今年も9月に開催し、地域連絡員の任務・役割の確認、会員とのコミュニケーション力の向上、ボランティアの参加意義などの理解を深めて、地域班の更なる活性化を図りたいと

思います。

地域との連携活動では、各地域の市民センター祭りへの参加、市施設の環境整備、浅川清掃、いちよう祭り清掃、八王子夢街道駅伝などのボランティアに参加し、センターのPRや会員の入会促進活動を実施しています。

今年はシルバー事務所移転に伴い、横山事務所で、いちよう祭りの日にシルバーフェアと命名してシルバー人材センター全体で参加する予定ですので、ボランティアへの参加をよろしくお願いいたします。

更に各地区の連携活動として、青少対クリーン活動、大栗川や公園清掃、八王子流鏑馬ボランティアに参加しています。

本年度もこれらの地区の活性化活動や地域との連携活動を進めて参りますので、会員の皆様の積極的な参加をよろしくお願いいたします。

編集後記

今回は総会で理事の改選があったため、新理事の皆さんの挨拶と各常任委員会についての案内がメインの号となりました。

また、会員の皆さんに読んで楽

しんでいただくという目的で素敵な技能をお持ちの会員2名に広報委員会でインタビューを行い記事にしました。是非、ご覧ください。

お二人の素敵な作品はお借りしてセンター事務局で展示中です。事務局にお立ち寄りの際は是非ご覧になってみてください。

また、広報委員会では素敵な趣味や特技を持った会員さんの情報をお待ちしています。自薦・他薦は問いませんので、事務局までお知らせください。

次回「生きがい八王子」 休刊についてのお知らせ

「生きがい八王子(新年号)」は当センター50周年記念誌の準備のため、お休みさせていただきます。記念誌が出来上がりましたら、「おおるり」等でお知らせいたします。

会員のひろば

会員の皆さんの中には素晴らしい趣味や特技をお持ちの方が沢山いらっしゃいます。

今回は、そんな「すごい」会員さんをご紹介します。

会員番号8319
銀山 和夫 会員

入会15年目の銀山さんは、屋外の駐車場整理等と広報配布業務のお仕事でご活躍されています。今回、生きがい八王子でご紹介させていただきたいと声をかけ、現役時代から趣味で始めたという竹細工を見せていただきました。

ご趣味で製作されている竹細工の模型は銀山さんの頭の中にある風景だそうです。

模型の設計書を作らず、思い浮かんだ建物をどうやって形にするか、「日々頭を悩ませることも楽しみの一つ」とのこと。

センターの就業と趣味の時間を上手に切り替え、充実した毎日をご過ごされています。どんな日でも必ず竹に触れる時間を短い時間だとしても作る、と細かなパーツを見せてくださいました。屋根の一枚一枚、お団子に座布団、下駄の細かなパーツまですべて銀山さんの手作りだそうです。可動式の扉、電気につく仕組み、それぞれに隠された細工やエピソード、わくわくする仕掛けがたくさん施されており、時間を忘れるほどでした。



会員番号12123
大岩 忠男 会員

ある会員の推薦でお伺いさせていただいた大岩さん。普段は放課後子ども教室で子どもたちの見守り等のお仕事に就業されています。

定年退職を機に、自分の趣味になりそうなものを探したときに出会ったという木象嵌。

一見すると表面に絵が描いてあるように見える線の一本から打たれた小さな一つの点まで、すべてが木を嵌め込んで表現されています。土台となる木に穴を掘り、そこにほかの木材を嵌め込み、木の模様を巧みに操り、作品に表情をつけていきます。

手のひらサイズのコースターから壁を飾るような大きな作品まで、多くの作品を見せてもらいました。作品イメージから木材を探すこともあれば、木材のほうからインスピレーションを受けることもあるとのこと。

お庭の片隅に作られたコックピットのような作業場所で生み出されているという作品たち。あまりに細かな技法と美しい木の表情に息を飲みました。



驚くことに色の異なる部分は全て他の木で出来ているそうです。